

第4期川西市中心市街地活性化基本計画(案)に 係る意見提出手続結果

- 1 意見募集期間 : 令和7年9月27日(土)～令和7年10月26日(日)
- 2 意見提出人数 : 3人
- 3 意見提出件数 : 17件
- 4 提出意見については別紙のとおりです。
お寄せいただいた意見は、それぞれの項目に分類し記載しています。
- 5 意見提出者の氏名については、個人が特定されることがないよう、
A～Cのアルファベット表記に変えて備考欄に記載しています。

意見番号	意見の分類 (該当の章など)	意見の内容	市の検討結果	意見提出者
1	【概要版】第4期川西市 中心市街地活性化基本計画 目標② まちなかプレーヤーとして活躍できるまちなか空間を創出する	<p>【概要版】第4期川西市中心市街地活性化基本計画 「目標② まちなかプレーヤーとして活躍できるまちなか空間を創出する」に関して まちなか交流拠点マチノマの利用人数の令和12年度目標値として6,236人と位置付けられているが、数値的根拠について教示いただきたい。</p> <p>また、マチノマの認知が徐々に高まり、利用者数の増加に一定程度評価できる一方で、固定利用者だけでなく、新規利用者を如何に伸ばしていくかについて考えることが必要だが、本市としてはどのような形で段階的に利用者増加に繋げるのか、詳細的に知りたい。</p>	<p>ご意見の数値的根拠については、以下の通りです。 基準値:3,905人(令和6年度実績) 目標値:6,236人 目標達成のため、<u>2,331人増が必要</u>となります。 【目標達成のための積算】 ①マチノマの1日平均利用者数を現状12.72人から20人に増加。 ・20人/日×年間開室日数307日=6,140人(基準値から2,235人増) タウンマネージャーを中心として、まちなかプレーヤーの活動拠点であるマチノマを運営し、中心市街地内の各活動の活性化を図ることで、利用者数の増加を図っていきます。 ②LOCAL BUSINESS HUB かわにし事業の実施による増加。 ・参加者約80人のうち1割程度が月1回マチノマを利用すると想定 8人×12ヶ月=96人増 ①+②=2,331人増とすることを、目標達成するための数値的根拠として本計画P89～P91に掲載しています。</p> <p>また、ご指摘の通り、利用者数の増加にあたっては、新規利用者をどのように伸ばしていくかが重要と考えています。そのため、中心市街地活性化協議会などが実施するイベント等を中心に、様々な参加者に対してマチノマの利用促進(広報・PR)を引き続き実施していく考えです。</p>	A-1
2	【概要版】第4期川西市 中心市街地活性化基本計画 目標達成のための主な事業	<p>【概要版】第4期川西市中心市街地活性化基本計画 「目標達成のための主な事業-⑤東側エリアの活性化事業」に関して 川西能勢口駅東側からみつなかホールまでの動線上の賑わいについては、以前から課題として挙げられ、本市としても活用検討については認識されているとは存じてはいるが、下記に関する方向性を詳細的に伺いたい。</p> <p>①駅東側高架下の利活用については、公園・広場としての空間活用 ②みつなかホール施設内又は施設周辺での滞留が困難なための対策について ③駅東口前のパチンコ店舗跡地テナントの活用について</p>	<p>第3期基本計画では、藤ノ木さんかく広場運営事業などのソフト事業を通じて、駅東側エリアのにぎわいづくりを検討してきましたが、ご指摘の通り、みつなかホールまでの動線上のにぎわいについては、課題であると認識しています。</p> <p>そのため、第4期計画においては、「東側エリアの活性化事業」のほか、「ペDESTリアンデッキ・川西能勢口駅周辺及び東側エリアまちづくり調査・研究事業」などを通じて、どのような方向性でにぎわい創出に向けた取組を進めていくべきかを、調査・研究いたします。</p> <p>その上で、①及び②の施設周辺は、高架下の土地建物は民間の所有物であることから、利活用の方法について「ペDESTリアンデッキ・川西能勢口駅周辺及び東側エリアまちづくり調査・研究事業」を通じて、民間事業者の意見を伺いながら事業を進めていきます。</p> <p>②のみつなかホールについては、利用者数がコロナ禍及び水損事故以降減少している状況であり、施設内等の滞留性の向上を含め、利用者数の増加に向けた取組を検討していきます。</p> <p>③については、当該地は民間事業者が所有する物件であり、その活用については所有者が決定するものです。市では、当該地のある東側エリアの活性化事業などの事業を本計画において位置付けており、川西能勢口駅のペDESTリアンデッキ及びその東側のエリアにおいて、民間事業者などの力も活かしながら、にぎわい創出に向けた検討を進めていきたいと考えています。</p>	A-2

意見番号	意見の分類 (該当の章など)	意見の内容	市の検討結果	意見提出者
3	【本編】 23ページ 1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針 (2) 地域の現状に関する統計的なデータの把握・分析 ②経済活力関係 iii) 競合する商業集積や大規模集客施設の状況	<p>第4期川西市中心市街地活性化基本計画（案） 「②経済活力関係」に関して iii) 競合する商業集積や大規模集客施設の状況 本市内では、大規模集客施設が中心市街地に集積している一方で、中北部地域では、中小規模店舗の赤字経営・撤退など長年市民から御愛顧されてきた。 競合は本市及び中心市街地の活性化を考える上で、域内経済の持続性・長期性にはあまり作用しないのではと懸念するところである。 中心市街地では、本市資産マネジメント課主導のもと旧文化会館跡地等の未利用地活用に向けたサウンディング調査、公募型プロポーザルに基づく民間事業者の選定等の計画、いわゆる中心市街地未利用地民間活用事業が遂行され、スーパーマルアイ等の大規模店舗が設置予定と聞くが、既に中心市街地では大規模店舗が林立しており、過剰供給ではないかと感じているところである、近隣地域のチェーン店舗や同様の大型店舗ばかりが林立する状況はまちづくりの視点からすると面白味に欠けると感じるところである。 一方で、パブリックコメント等では、市民への調査はスーパーマーケット等の大規模店舗以外のニーズも一定数散見されるのだが、市民ニーズが反映されていない計画づくりになっている。ニーズと異なる民間事業者の参入に懸念を表明するとともに、中心市街地における他地域との差別化戦略や本市の中心市街地以外の空洞化を防ぐ為の対策等があれば伺いたい。</p>	<p>ご指摘の通り、本市及び中心市街地の活性化にとっては、本市及び中心市街地の施設をいかに利用していただくかが重要であると考えています。 第4期基本計画においては、他都市との競合を意識しつつ、どのように活性化を図っていくかという趣旨で課題、目標、事業などを検討してきました。特に特徴のある小さいエリアをゾーニングすることにより、その地域の特徴を最大限生かしていくことを第4期基本計画の重要なテーマの一つに掲げており、例えば特徴的な店舗が立ち並ぶエリアなどは、他都市の商業施設より独自性を出せる要素になりうると考えています。 また、まちなかプレーヤーが活発に活動し、マチノマのほか、ペDESTリアンデッキ、藤ノ木さんかく広場などで様々なイベントが行われている点も独自性を出せる要素になりうると考えており、こうした活性化のタネを最大限活かしていくことが重要ではないかと考えています。 旧文化会館跡地等の未利用地活用は、中心市街地に都市機能を集約させるという方策の一つであると考えています。 なお、同事業は、市民アンケート調査の結果を踏まえて、学識経験者や市民委員による審査を実施し、事業者を決定したものです。 また、本市では令和6年度に「川西市都市計画マスタープラン」を策定しており、中心市街地が含まれる「都心核」のほか、商業、文化、生活利便施設が集積するエリアを「地域核」と位置づけているほか、公共交通の利便性の向上を行うことで、自家用車から公共交通への転換を促進し、中心市街地や各地域拠点のにぎわいの向上を図り、環境にやさしいまちの実現をめざす旨が記載されています。都市計画マスタープランの方針なども踏まえ、各地域に有用な機能の誘導を図っていきます。</p>	A-3
4	【本編】 28ページ 1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針 (1) 地域の現状に関する統計的なデータの把握・分析	<p>P28中心市街地内の「公共施設利用状況推移」として文化ホールのデータしか記載されていませんが、他の公共施設の利用状況も記載されるべきかと思います。 また利用率ではなく、利用者数で記載された方がより「にぎわい」を実感できます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、(1) 地域の現状に関する統計的なデータの把握・分析に総合体育館、弓道場、市民温水プールといったスポーツ施設の利用状況がわかるデータを記載します。</p>	B-1

意見番号	意見の分類 (該当の章など)	意見の内容	市の検討結果	意見提出者
5	【本編】 54ページ 1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針 (5) 中心市街地活性化の課題	第4期川西市中心市街地活性化基本計画（案） 「（５）中心市街地活性化の課題」 川西池田駅南側及び北側ロータリーに関して、本市の中心市街地に位置付けられるものと認識しているが、これまでの計画期間の中では、未だ重点的かつ有効的な活用案について検討されてこなかったものと理解する。第4期計画では、川西池田駅周辺の活性化に関する具体的な方向性や計画を伺いたい。 併せて、駅南側の農家・農業従事者の減少、生産量の減少は懸案事項として挙げられ、宅地開発や駐輪場設置、道路整備等の住宅都市化による農地面積の減少は無花果・桃等の特産品のブランディングに喪失に著しく懸念するところである。本市や本課を通じて「農福連携」等の対策も取り組む意向があるというのを聞くところだが、具体的な対策や今後の方向性をお示しいただきたい。 駅南側直ぐには食品加工や食品包装を専門とする東洋食品工業短期大学も存在するが、「農福連携」「産官学民連携」等の可能性も視野に、東洋食品工業短期大学等の高等教育機関との包括連携協定等の有効活用も模索すべきと考えるが、本市としての考えを伺いたい。	川西池田駅のエリアについては、第4期基本計画の計画期間内において実施する事業は現在のところございませんが、ペDESTリアンデッキなどのにぎわい創出に向けた検討を進めていくことで、そのにぎわいが川西池田駅周辺まで波及していくエリアであると考えています。 農福連携については、今後の方向性を検討する段階ではありますが、市内事業者と連携して進めています。 ご指摘の活用方法は、産官学民連携等の活用も含めて、中心市街地の活性化のための方法の一つとして、参考にさせていただきます。	A-4
6	【本編】 56ページ 1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針 (6) 中心市街地活性化の方針 ① 新たな活性化のテーマ	第4期川西市中心市街地活性化基本計画（案） 「（６）中心市街地活性化の方針-① 新たな活性化のテーマ」 第4期計画にある「こどもがつどい にぎわい奏でるまち ～みんなの笑顔がめぐる 人と人がつながる場所～」について、こども・子育て世帯に対するフレーズが全面的に強調され過ぎていて、テーマの構成者・主体者が限定されているように感じ、その他の若者や高齢者、地域住民が疎外感を感じるのではないかと懸念しているところだが、市としての考えを伺いたい。	上位計画である総合計画の基本姿勢の一つである「まず、『子どもの幸せ』から始めます。」に則っていることや、こども・若者参加条例が制定・施行されたことが背景にあります。 また、事業としても「こども」に関わる事業を遂行していく予定であることなどを踏まえ、第4期基本計画の活性化テーマを定めました。 なお、第4期基本計画の活性化のテーマである「みんなの笑顔がめぐる」という表記において、全ての世代に対する視点でにぎわい創出をすることを記載していますが、ご指摘を踏まえ、本編56ページ(6) 中心市街地活性化の方針、①新たな活性化のテーマの説明文「子育て世代が集い、みんなが楽しく過ごせる空間づくりを進め、魅力あふれる中心市街地を、地域の方々とともにつくりあげていくことがこのテーマに込められている。」に下線部分を追記します。	A-5
7	【本編】 92～93ページ 3. 中心市街地の活性化の目標 (4) 数値目標の設定とその考え方 目標②「まちなかプレイヤーとして活躍できるまちなか空間を創出する」に関する数値目標 ii) 新規開業者数	第4期川西市中心市街地活性化基本計画（案） 「直接的な効果が見込まれる事業-ウ）LOCAL BUSINESS HUB かわにし事業による効果」について 本事業を通して得られる到達目標、最終的な着地点について具体的に説明いただきたい。 また、既存の事業者や起業意欲のある参加者だけをターゲットにするのみならず、一般的な会社員など川西市民の参加機会を創出する必要がある、原則全10回に参加する必要性があること、noteへの登録の義務付けはハードルが高く、大衆向けではないと感じている。単なる講演会や内輪の交流会のみならず、起業や運営などの実践的な部分に対する体験・就業経験などの場も創出していく必要があると思うが、市としての考えを伺いたい。	LOCAL BUSINESS HUB かわにしは、多様な方々の交流を通じて、川西市の中心市街地で、新しいにぎわいの芽が生まれることを期待してスタートした事業です。 参加者のみなさまには、本事業を通じて、講師によるビジネスモデルや事業の価値観を学んでいただくとともに、様々な属性の参加者とながりを作ってもらうことを念頭に置いて実施しています。令和8(2026)年度以降については、現在検討中ではありますが、講演や交流を中心としつつ、これまで議論された内容などを踏まえたより実践的な取組を行っていくためのものを、参加者の意向等も踏まえて、展開していく考えです。 なお、本事業は令和7(2025)年度からスタートしているため、事業を実施していくうえで改善していくことを心がけ、参加者からのご意見も参考にしながら、事業運営を行っていきます。	A-6

意見番号	意見の分類 (該当の章など)	意見の内容	市の検討結果	意見提出者
8	【本編】 96ページ ◇4から8までに掲げる 事業一覧	<p>本計画書に記載されている事業がどのような経緯で選択されているのか詳しく存じませんが、記載されている53事業の他に中心市街地として区分されたエリアには、総合体育館や市民温水プールなどのスポーツ施設があり、それらの施設においては様々なスポーツ教室やスポーツイベントが年間を通じて開催されています。</p> <p>令和6年度川西市文化・スポーツ振興財団の事業報告書によりまずと総合体育館においては年間16万9千人、市民温水プールにおいては年間9万4千人の利用者があります。また、幼児・子ども対象の事業が総合体育館においては10教室、市民温水プールにおいては14教室開講されており、親子でスポーツに親しむイベント「あつまれげんキッズ」や「バスケットボール3ON3」なども開催されています。</p> <p>基本計画において、文化事業が非常に詳しく記載されていますが、スポーツ関連事業は「総合体育館大規模改修」しか記載されていません。</p> <p>川西市として中心地のにぎわいを計るならば、いろいろな分野における事業を総合的に勘案されるべきで、第4期基本計画の目標には「子どもが育ち、にぎわい息づくまちなか空間を創出する」とあり、スポーツ施設運営事業(教室・イベント)も中心市街地活性化に十分寄与する事業であると思います。</p> <p>また、総合体育館や市民温水プールは川西市の公共施設であり、医療ゾーン、商業ゾーンと共にキセラセせらぎ公園を一体的に取り囲むように配置され、火打1丁目周辺における人や車両の流れも数年前とは大きく変化し、多くの市民が足を運ぶ地域になっております。中心市街地活性化という観点から考えますと、基本計画中にも記載があるように数値が明確な指標になりますので、当該施設において年間26万人余の利用者があることを踏まえてスポーツ関連事業についてもう少し記載されても良いのではと考えます。</p>	<p>ご指摘の通り、スポーツ関連事業については、活性化の重要な要素であると考えています。</p> <p>特に子どもに関わるスポーツイベントなどは、本計画の基本理念にも一致するため、ご指摘いただいた「あつまれ!!げんキッズ」、「3 on 3 in KAWANISH」のほか、「スポーツの日記念イベント」についても、事業として新たに第4期基本計画に追加します。</p>	B-2
9	【本編】 97ページ ◇4から8までに掲げる 事業一覧	<p>川西能勢口駅周辺のペDESTリアンデッキとポケットパークにイベントの告知掲示板が無い。</p> <p>5,000円他、利用料がかかるようになってから藤ノ木さんかく広場のイベント利用が減ったような気がする。</p> <p>市役所西ポケットパークは名称、他は問い合わせ先の看板が無い(マチノマ、産業振興課他)</p>	<p>イベントの告知については、SNSによる告知を主に実施しており、告知掲示板については、藤の木さんかく広場においてイベントの開催をチラシなどを活用して掲示しているほか、ペDESTリアンデッキ上の掲示板の活用についても検討します。</p> <p>また、藤の木さんかく広場のイベント等の利用料については、同広場のルールを定期的に見直しており、利用者だけでなく周辺住民にも配慮しながら、現在のルールを適用しています。市役所西ポケットパークについての活用方法の検討も含め、中心市街地の各イベントが盛り上がるよう、今後とも引き続きPR等を実施していきます。</p>	C-1
10	【本編】 97ページ ◇4から8までに掲げる 事業一覧	<p>ペDESTリアンデッキで以前はストリートミュージシャンがふらっと来てたのに、最近はほぼ見ない(otomachiとか登録イベントは始まったけど)</p>	<p>ストリートミュージシャンの野外演奏の動向については、市では把握できておりません。</p> <p>ご意見にあるとおり、ペDESTリアンデッキを活用した音楽イベント「Otomachi」を実施しており、ペDESTリアンデッキ上で演奏を希望するミュージシャンを登録し、中心市街地活性化協議会による企画のもと実施していくことで、音楽イベントを開催していく考えです。</p>	C-2

意見番号	意見の分類 (該当の章など)	意見の内容	市の検討結果	意見提出者
11	【本編】 97ページ ◇4から8までに掲げる 事業一覧	駅前周辺とか歩いていると、クリニックや美容室が多すぎるような気がする。業種のバランスが市民が望んでいるものになってるのか。 川西阪急スクエアになりスタバ、GU、ロフトとか出来てちょっと雰囲気が変わりましたが、若者が望んでる店舗が今後来るのか気になります。 川西能勢口駅東口からみつなかホールへはどのような展開なのでしょう？ 阪急宝塚駅から大劇場までの花の道みたいな雰囲気(宝塚歌劇関連、劇団員が行く店とか)を参考にされるのでしょうか。みつなかホールはクラシックな注力されていますが、そこからの雰囲気に合う店舗の割合を多く揃えるのでしょうか。	川西能勢口駅東口側のエリアについては、東側エリアの活性化事業などの事業を本計画において位置付けています。当事業については、川西能勢口駅のペデストリアンデッキ及びその東側のエリアにおいて、民間事業者などの力も活かしながら、にぎわい創出に向けた検討を進めていきたいと考えています。 具体的な事業については、第4期基本計画の中で検討していきます。	C-3
12	【本編】 97ページ ◇4から8までに掲げる 事業一覧	公用第二駐車場の公用車を第一にまとめると、公用第二駐車場がイベント利用出来ると思いますがいかがでしょうか。	市では、駐車場をイベントに利用する考えはありませんが、イベントを開催する必要性がありましたら、当該地の活用を柔軟に検討します。	C-4
13	【本編】 97ページ ◇4から8までに掲げる 事業一覧	まちなかウォッチャーの調査報告での自由意見で解決されてない項目も多いような気がします。	自由意見の内容については、全ての意見を反映することは困難ですが、中心市街地の活性化のためのご意見として、参考にさせていただきます。	C-5
14	【本編】 97ページ ◇4から8までに掲げる 事業一覧	能勢電高架下のパチンコ屋跡の活用	当該地は民間事業者が所有する物件であり、その活用については所有者が決定するものです。 市では、当該地のある東側エリアの活性化事業などの事業を本計画において位置付けており、民間事業者などの力も活かしながら、東側エリアのにぎわい創出に向けた検討を進めていきたいと考えています。	C-6
15	【本編】 100ページ ◇4から8までに掲げる 事業一覧	川西市役所の南広場の土日祝のイベント利用の開放を(土日祝なら来庁者の邪魔にならないし、以前かわにし音灯りのサブ会場開催の利用実績があります)	南広場のイベントにつきましては、平日のキッチンカーによる昼間に開催しているイベントやかわにし源氏まつりの開催時のイベント開催など実施しています。 今後とも、来街者のニーズを踏まえながら、市役所の南広場の活用を検討していきます。	C-7
16	【本編】 100ページ ◇4から8までに掲げる 事業一覧	平日昼間のイベントがほぼ無い。	中心市街地で開催されるイベントの多くはまちなかプレイヤーや商業施設が中心となって開催されています。 平日の昼間は主催者・参加者ともにニーズが小さいため、開催されていないものと思われますが、実施の申請があった際は、道路空間の占用許可基準に基づき、許可判断を行います。	C-8

意見 番号	意見の分類 (該当の章など)	意見の内容	市の検討結果	意見提出者
17	【本編】 120ページ 7. 中小小売商業高度 化事業、特定商業施設 等整備事業、民間中心 市街地商業活性化事 業、中心市街地特例通 訳案内士育成等事業 その他の経済活力向上 のための事業及び措置 に関する事項 (4) 国の支援がないそ 他の事業	P120みつなかオペラの事業内容の記載に「企画から運営まで市 民参画のもと、手作りによる・・・」との表現がありますが、財団事業報 告書に記載の出演者等のお名前を拝見したところ、音楽業界で広 く活躍されている方々が多数おられ、運営についても川西市文化・ スポーツ振興財団がされており、少し記載内容と実情が違うよう です。 時代の流れにより変化しているのであれば、正確に記載される方 がよろしいかと思います。	ご指摘を踏まえ、 【事業概要】 及び 【活性化に資する理由】 の説明文 を「 <u>川西市にゆかりのある音楽家を中心に構成された実行委員会と川 西市文化・スポーツ振興財団により運営される</u> 市民オペラを開催す る。」に下線部分を修正します。	B-3